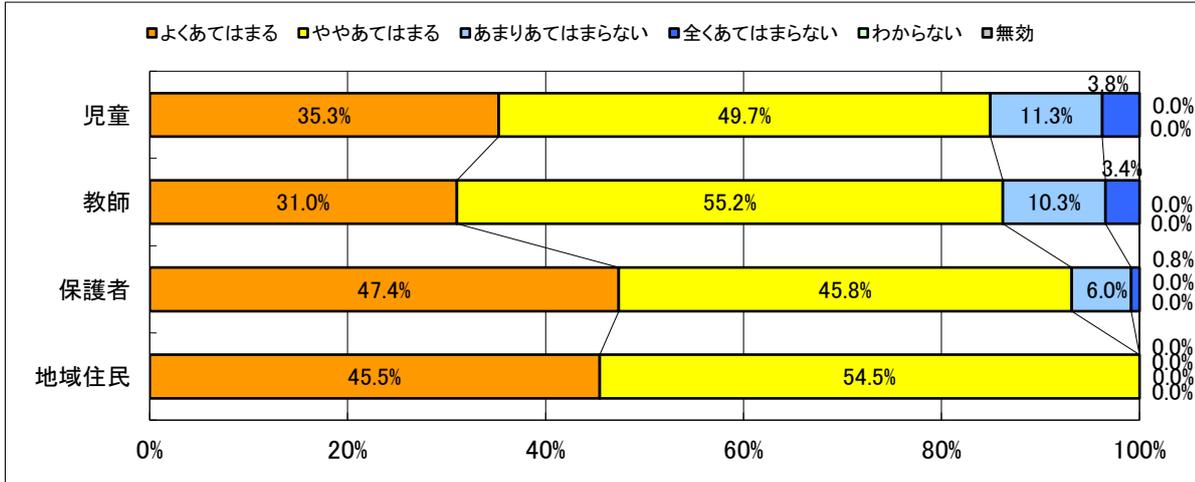
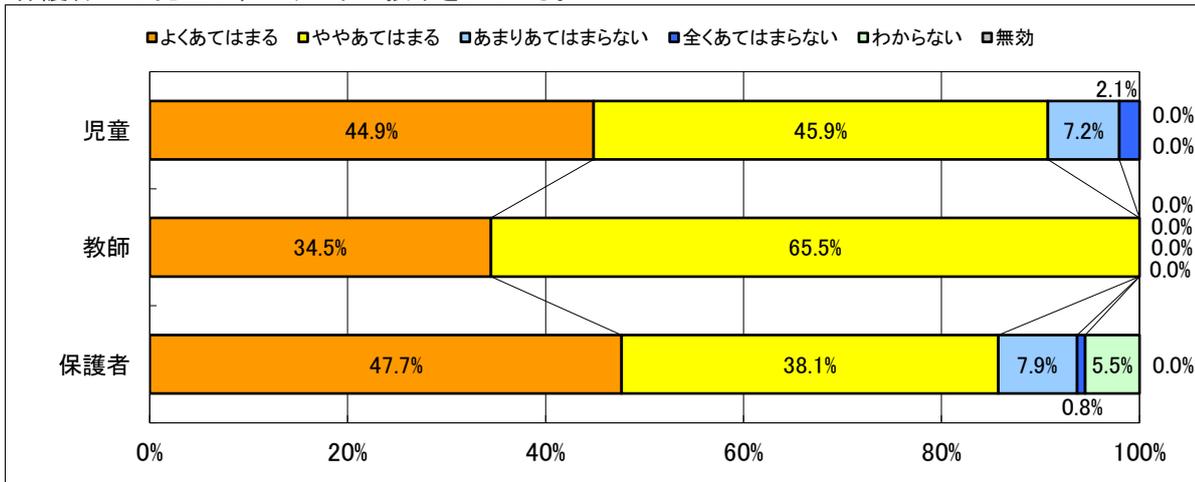


### 4者間(教師、児童、保護者、地域住民)比較：加木屋小学校

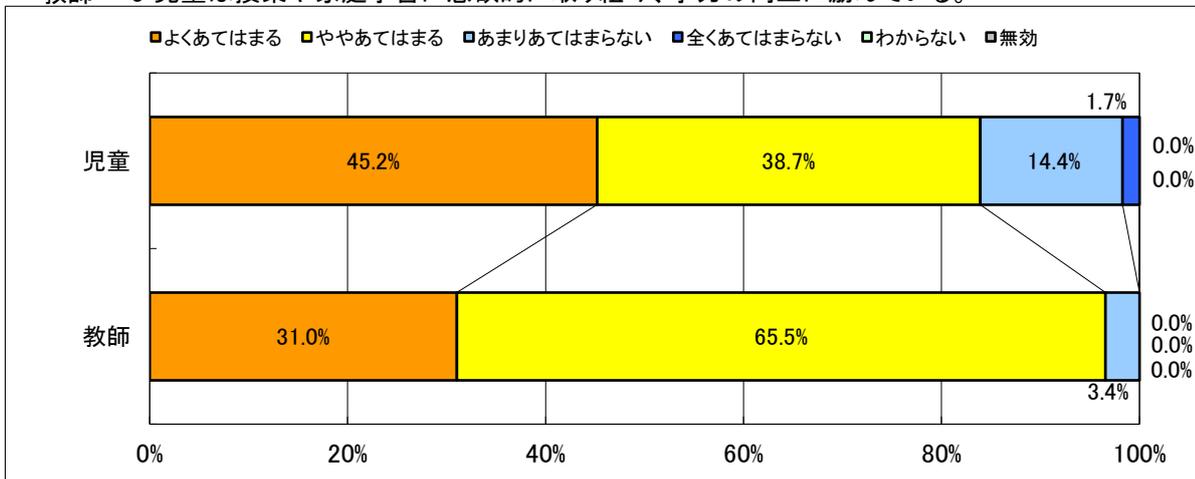
- 生徒・児童 1 早寝・早起きなど規則正しい生活を心がけている。  
 教師 1 「にこにこチェック」等を活用し、よりよい生活習慣の確立に向けて指導している。  
 保護者 1 家庭では、早寝早起きなど規則正しい生活習慣が身に付くように心がけている。  
 地域住民 1 加木屋小学校の子どもたちは、元気よくあいさつすることができている。



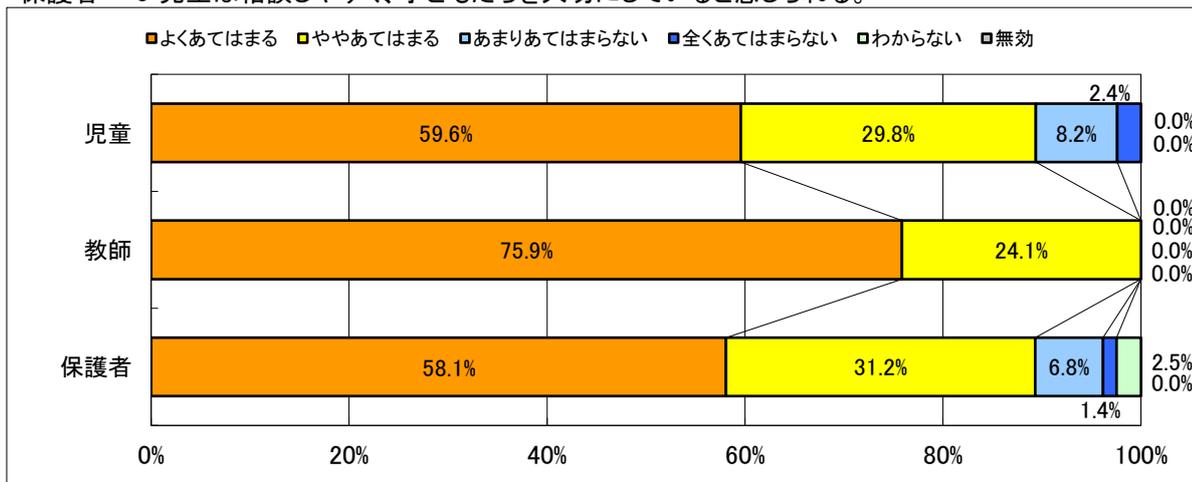
- 生徒・児童 2 授業は楽しく、よくわかる。  
 教師 2 児童の意欲を引き出し、よくわかる授業を実践している。  
 保護者 2 先生はわかりやすい授業をしている。



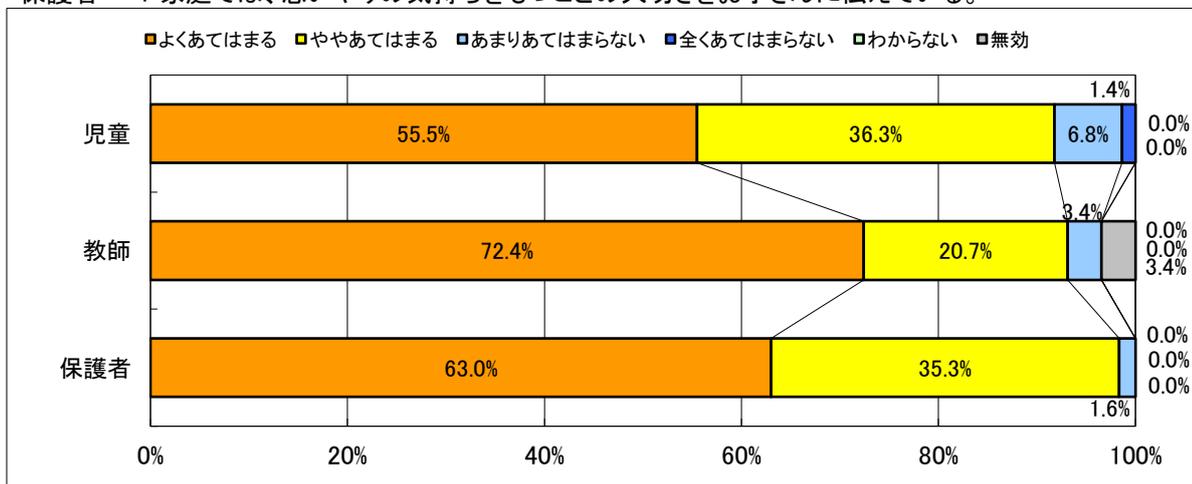
- 生徒・児童 3 授業では、進んで学習に取り組んでいる。  
 教師 3 児童は授業や家庭学習に意欲的に取り組み、学力の向上に励んでいる。



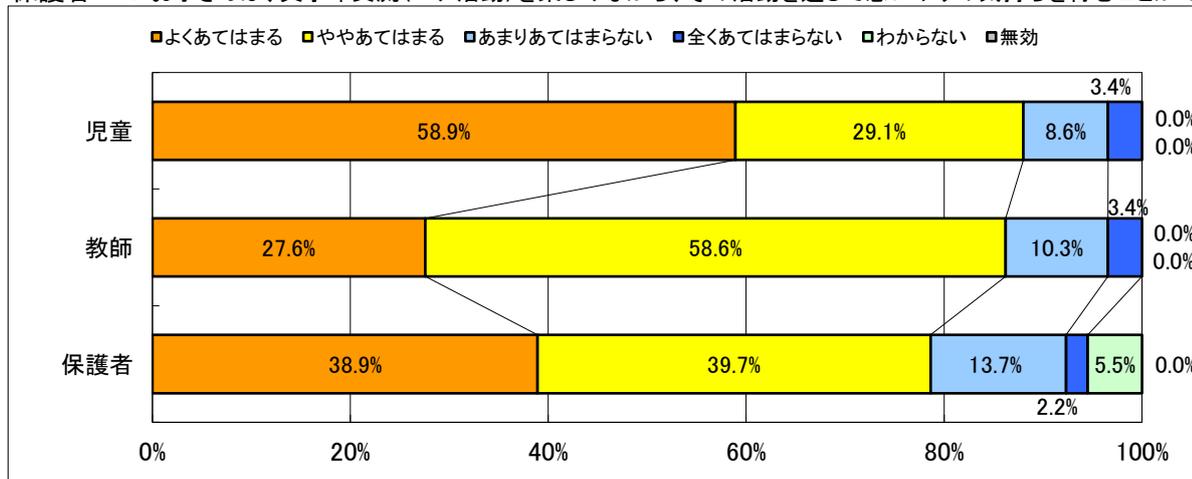
- 生徒・児童 4 先生は話しやすく、困っていることや悩みをしっかりと聞いてくれる。  
 教師 4 児童を褒め励ましたり、相談に耳を傾けたりして児童理解に努めている。  
 保護者 3 先生は相談しやすく、子どもたちを大切にしていると感じられる。



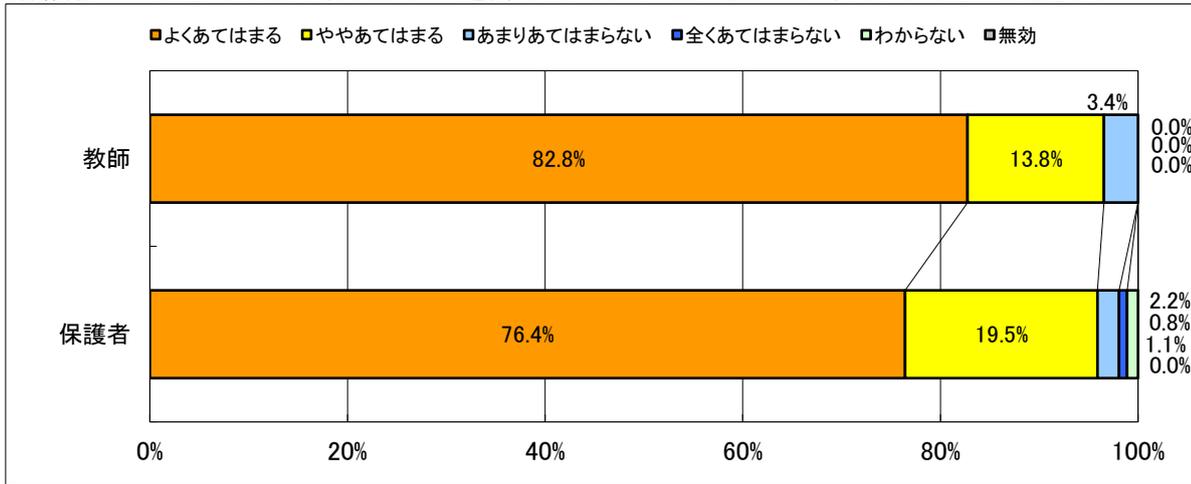
- 生徒・児童 5 どの友達にも思いやりのある言動をとり、いじめのない学級にしようとしている。  
 教師 5 互いに助け合い励まし合う心を育て、いじめのない集団づくりに努めている。  
 保護者 4 家庭では、思いやりの気持ちをもつことの大切さをお子さんに伝えている。



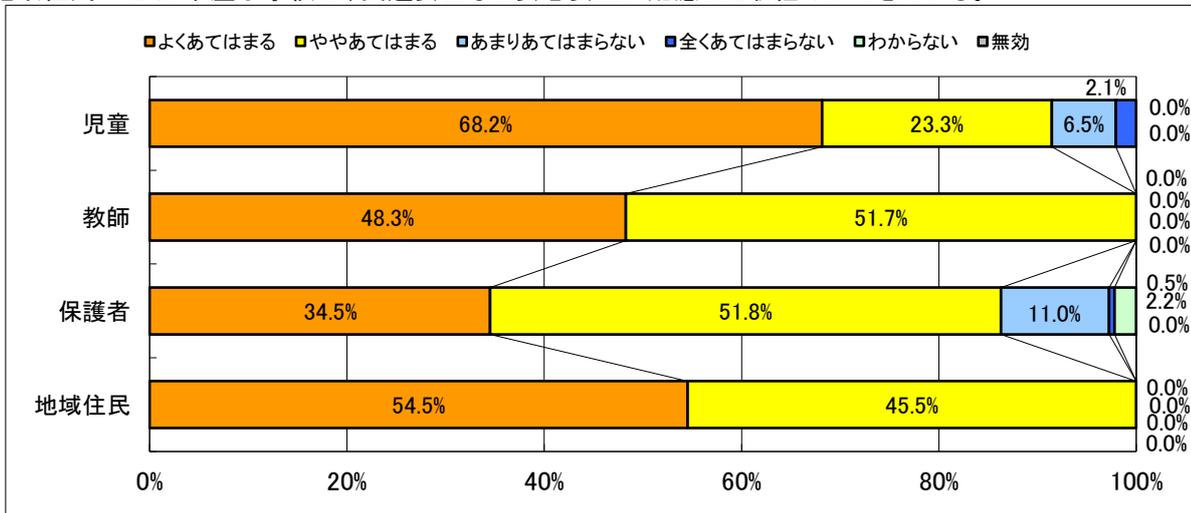
- 生徒・児童 6 ペアのことを考えて行動したり、協力したりしながら過ごすことが増えた。自分は、ペア活動を楽しみにしている。  
 教師 6 異学年交流(ペア活動)を通して児童が身に付ける力を理解し、指導を心がけている。  
 保護者 5 お子さんは、異学年交流(ペア活動)を楽しみながら、その活動を通して思いやりの気持ちを育てることができている。



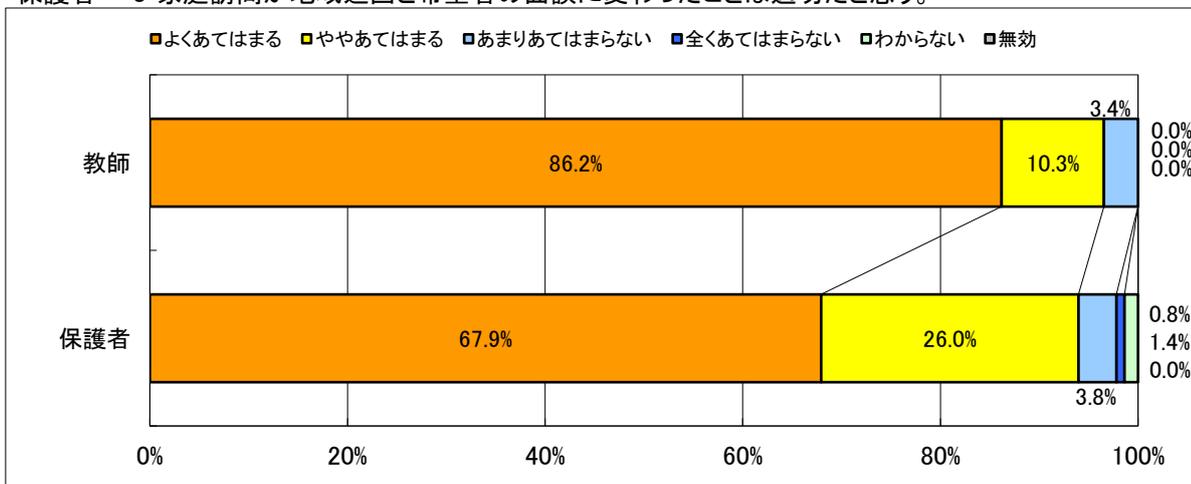
教師 7 児童の安全対策のため、門を閉めるようになったことはこの時代なので適切である。  
 保護者 6 児童の安全対策のため、門を閉めるようになったことはこの時代なので適切だと思う。



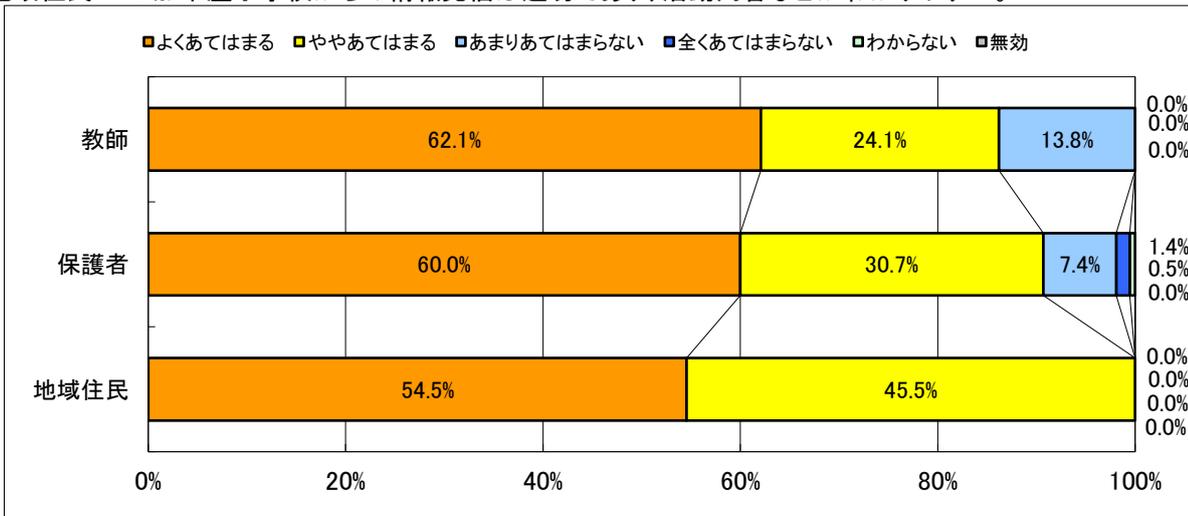
生徒・児童 7 登下校で気を付けることや交通安全について、家や学校で教えてもらっているので、気を付けている。  
 教師 8 交通安全について指導しながら、KYT登校を通してその意識の向上を図っている。  
 保護者 7 学校や家庭による交通安全指導によって、子どもたちの交通安全意識は高まっている。  
 地域住民 2 加木屋小学校は、交通安全など安心安全に配慮した取り組みができています。



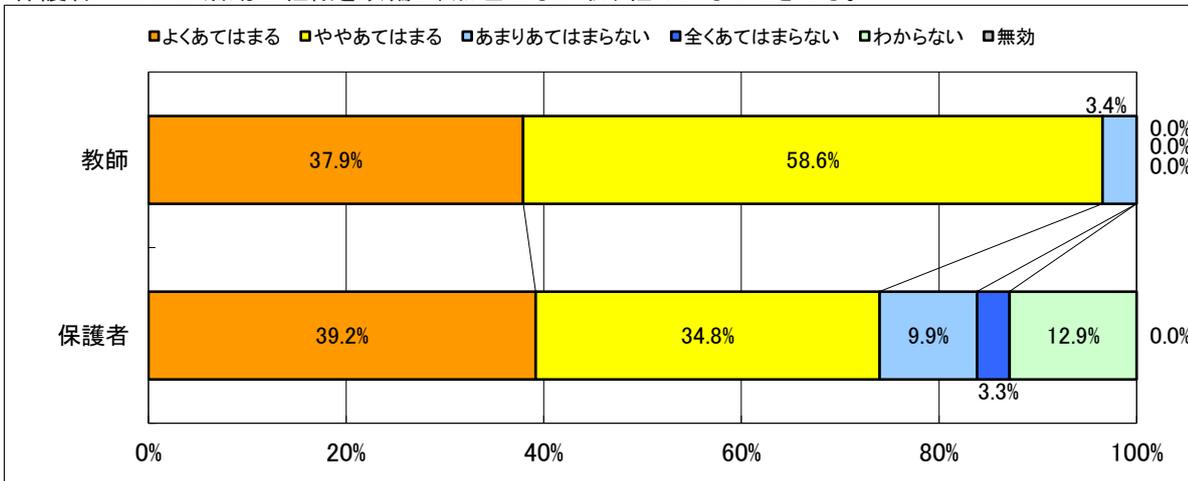
教師 9 家庭訪問が地域巡回と希望者の面談に変わったことは適切だと思う。  
 保護者 8 家庭訪問が地域巡回と希望者の面談に変わったことは適切だと思う。



教師 10 eメッセージやブログ等を活用し、必要な情報を保護者や地域に分かりやすく伝えている。  
 保護者 9 加木屋小学校は、eメッセージやブログで保護者に適切に情報提供している。  
 地域住民 3 加木屋小学校からの情報発信は適切であり、活動内容などがわかりやすい。



教師 11 学校はPTAと連携し、活動の見直しや会費の減額等の課題に積極的に取り組んでいる。  
 保護者 10 PTA活動は組織を改編し、無理のない取り組みになってきている。



教師 12 学年だよりを学校だよりに統一し、保護者が予定を把握しやすいように工夫している。  
 保護者 11 月予定や下校時刻等をまとめて確認することができる等、学校だよりと学年だよりが一本化されたのはよいと思う。

